



2022年11月11日

各 位



会社名 JCRファーマ株式会社  
代表者名 代表取締役会長兼社長 芦田 信  
(コード番号 4552 東証プライム市場)  
問合せ先 上席執行役員管理本部長 本多 裕  
(TEL 0797-32-1995)

(訂正)「2023年3月期第2四半期 決算説明会(決算概要)資料」の  
一部訂正について

2022年10月26日に開示いたしました、「2023年3月期第2四半期 決算説明会(決算概要)資料」について一部訂正がありましたのでお知らせいたします。なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。訂正後の資料は当該お知らせに添付しております。

記

【訂正理由】

「2023年3月期 第2四半期決算短信[日本基準](連結)」に一部誤りがあることが判明したため、それに伴い訂正を行うものです。

【訂正箇所】

Financial 7 財務状態(連結)

<訂正前>

- ・固定資産 増減 主な増減項目 有形固定資産 +792
- ・流動負債 2022年9月末 32,491  
増減 計 △ 9,563
- ・固定負債 2022年9月末 6,018  
増減 計 +2,027

<訂正後>

- ・固定資産 増減 主な増減項目 有形固定資産 +145
- ・流動負債 2022年9月末 32,991  
増減 計 △ 9,063
- ・固定負債 2022年9月末 5,518  
増減 計 +1,527

<追記>

- ・固定資産 増減 主な増減項目 無形固定資産 +551

以 上

# 2023年3月期第2四半期 決算説明会 －決算概要－

2022年10月26日

JCRファーマ株式会社

【証券コード】4552

【問合せ先】管理本部 広報・IR室 北村（TEL 0797-32-1995）

## 第2四半期 実績 (2023年3月期)

### 前年同期比減収減益は期初予想通りの推移

(単位：百万円)

	第2四半期実績	前年同期比	対通期予想 進捗率
売上高	15,581	△ 45.1%	34.6%
営業利益	744	△ 94.5%	5.1%
経常利益	1,569	△ 88.6%	10.8%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	962	△ 89.6%	9.3%

- 主力製品：グロウジェクト®は薬価改定などの影響を受け減収となったが、イズカーゴ®の売上が大きく寄与し売上合計は前年同期と同水準を保持。
- AZD1222原液の国内受託製造の終了、及び上期における契約金収入の減少により売上高、各利益は前年同期比で減少。
- 積極的な研究開発活動により、研究開発費が増加。

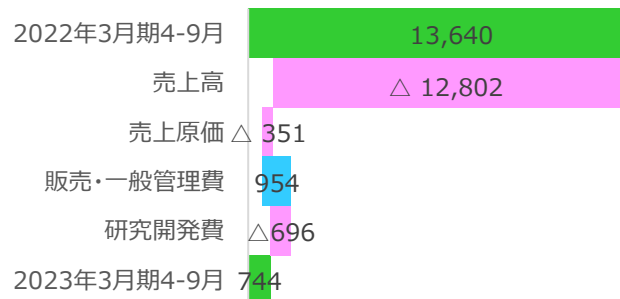
(単位：百万円)

連結	2022年3月期 4-9月	2023年3月期4-9月		2023年3月期通期	
		A	前年同期比	予想 B	年間進捗率 A/B
売上高	28,383	15,581	△ 45.1%	45,000	34.6%
売上原価	4,485	4,836	+7.8%	9,000	53.7%
売上総利益	23,898	10,744	△ 55.0%	36,000	29.8%
販売・一般管理費	6,737	5,782	△ 14.2%	12,500	46.2%
研究開発費	3,520	4,216	+19.8%	9,000	46.8%
営業利益	13,640	744	△ 94.5%	14,500	5.1%
経常利益	13,731	1,569	△ 88.6%	14,500	10.8%
親会社株主に帰属する 四半期 / 当期純利益	9,234	962	△ 89.6%	10,300	9.3%

(ご参考)

共同開発先による負担控除前の 研究開発費	3,570	4,415	+23.6%	9,500	46.5%
-------------------------	-------	-------	--------	-------	-------

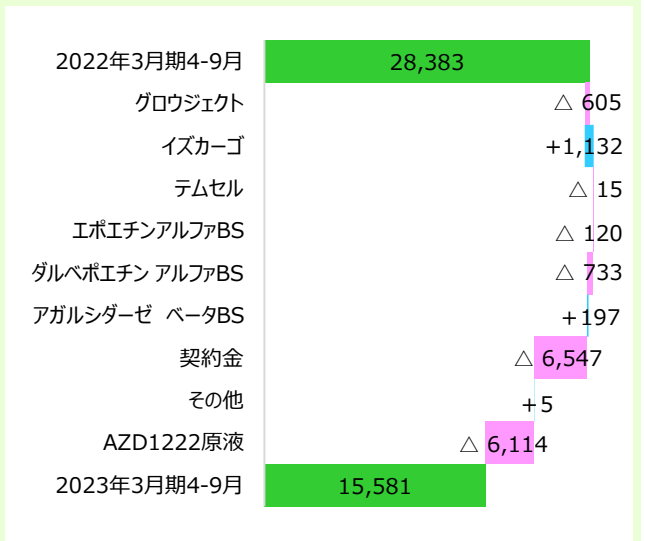
## ◆ 営業利益 744百万円 対前年同期△ 12,895百万円



### 主な増減要因（前年同期比）

- ・ AZD1222原液の国内受託製造終了、及び上期における契約金の減少による売上高の減少  
△ 12,802百万円
- ・ 積極的な研究開発活動による研究開発費の増加  
△ 696百万円
- ・ 2022年3月期特有の販管費の解消  
+954百万円

## ◆売上高 15,581百万円 対前年同期△ 12,802百万円



### 主な増減要因 (前年同期比)

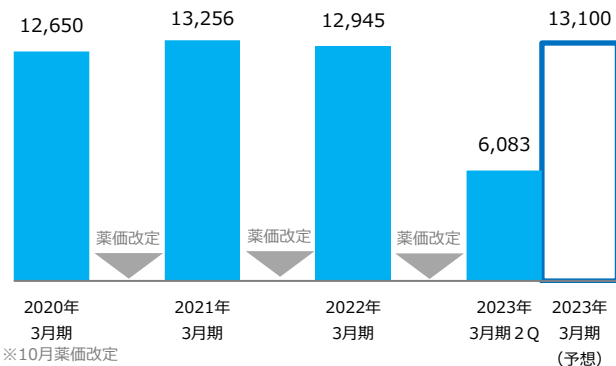
- ・ イズカーゴ<sup>®</sup>の市場浸透 +1,132百万円
- ・ AZD1222原液の国内受託製造の終了 △ 6,114百万円
- ・ 上期における契約金収入の減少 △ 6,547百万円

品目	2022年3月期4-9月		2023年3月期4-9月 A			2023年3月期通期	
		構成比		構成比	前年同期比	予想 B	年間進捗率 A/B
グロウジェクト <sup>®</sup>	6,689	23.6%	6,083	39.1%	△ 9.1%	13,100	46.4%
イズカーゴ <sup>®</sup>	985	3.5%	2,118	13.6%	+114.8%	5,210	40.7%
テムセル <sup>®</sup> HS注	1,717	6.1%	1,701	10.9%	△ 0.9%	3,530	48.2%
腎性貧血治療薬	3,011	10.6%	2,157	13.8%	△ 28.4%	4,930	43.8%
エポエチンアルファBS注「JCR」	1,512	5.3%	1,392	8.9%	△ 8.0%	2,630	52.9%
ダルベポエチンアルファBS注「JCR」	1,498	5.3%	765	4.9%	△ 48.9%	2,300	33.3%
アガルシダーゼ ベータBS点滴静注「JCR」	323	1.1%	521	3.3%	+61.0%	760	68.6%
<b>医薬品等合計</b>	<b>12,728</b>	<b>44.9%</b>	<b>12,583</b>	<b>80.7%</b>	<b>△ 1.1%</b>	<b>27,530</b>	<b>45.7%</b>
契約金収入	7,557	26.6%	1,010	6.5%	△ 86.6%	15,400	6.6%
その他	51	0.2%	56	0.4%	+9.9%	140	40.0%
AZD1222原液	8,046	28.3%	1,931	12.4%	△ 76.0%	1,930	100.0%
<b>売上高合計</b>	<b>28,383</b>	<b>100.0%</b>	<b>15,581</b>	<b>100.0%</b>	<b>△ 45.1%</b>	<b>45,000</b>	<b>34.6%</b>

# 各製品別売上高推移

(単位：百万円)

## 遺伝子組換え天然型ヒト成長ホルモン製剤 グロウジェクト®

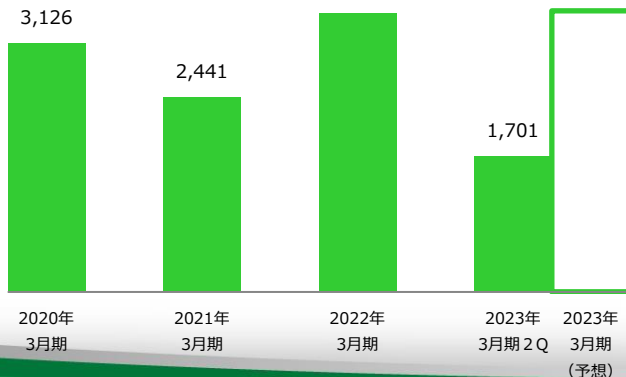


### 今年度のトピックス

- 2022年8月：めろん日記®のリニューアル公開

## ヒト体性幹細胞加工製品 ヒト(同種)骨髄由来間葉系幹細胞

### テムセル®HS注

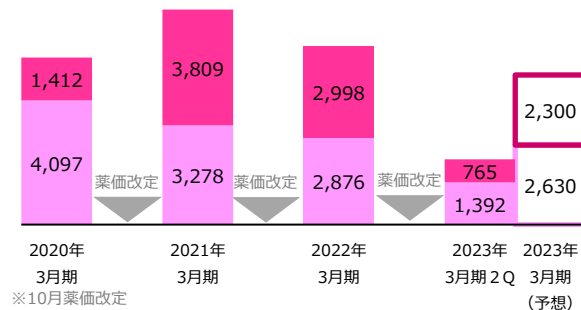


## 遺伝子組換えヒトエリスロポエチン製剤 エポエチンアルファBS注「JCR」

## 持続型赤血球造血刺激因子製剤

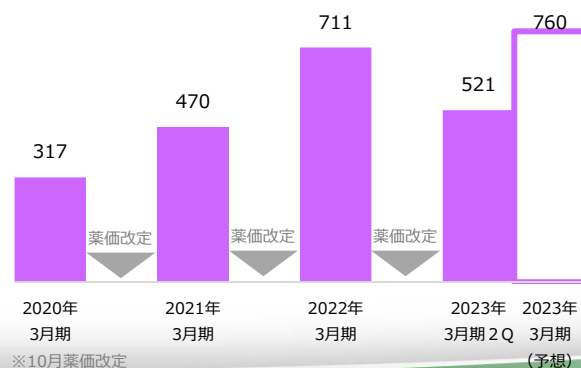
## ダルベポエチン アルファBS注「JCR」

■ エポエチンアルファ ■ ダルベポエチン



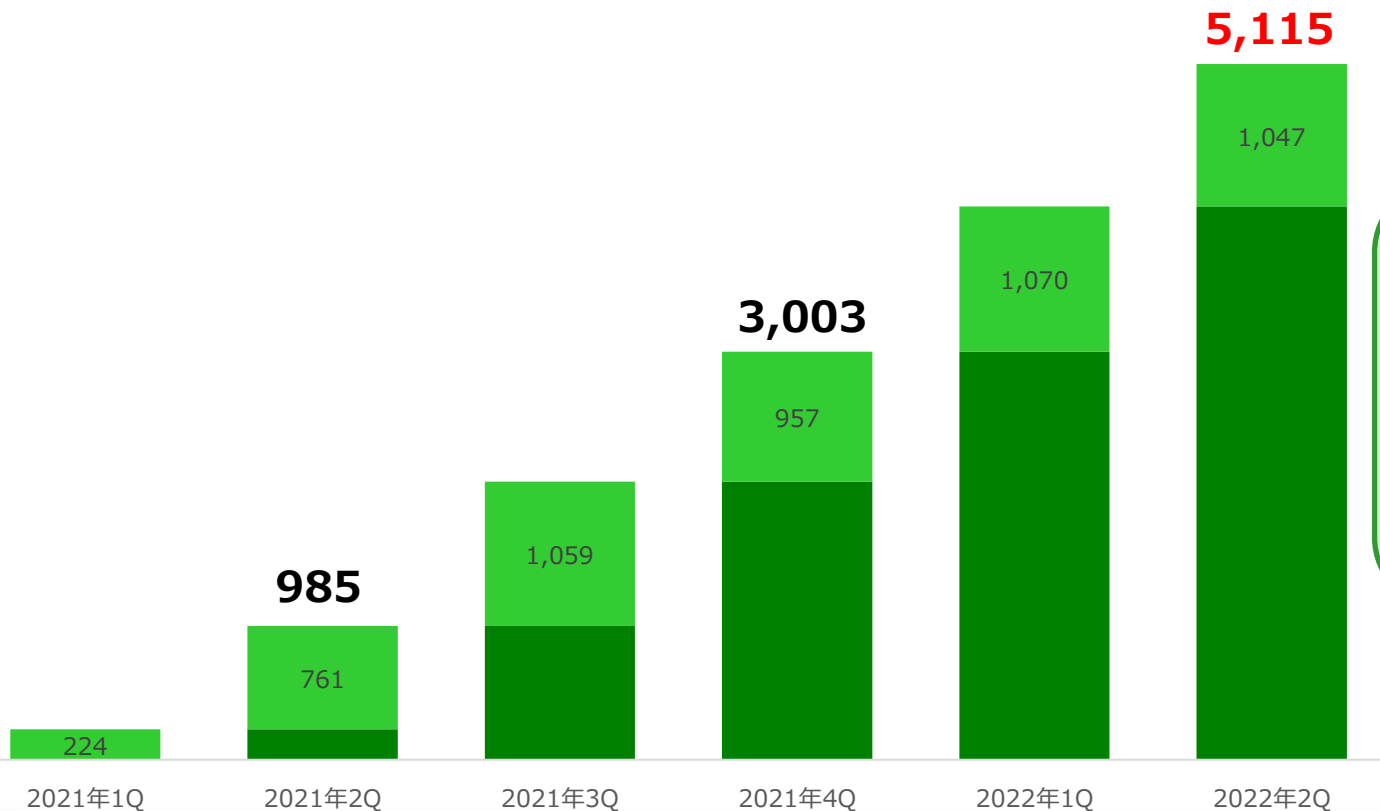
## 遺伝子組換えファブリー病治療剤

### アガルシダーゼ ベータBS点滴静注「JCR」



### 今年度のトピックス

- 2022年4月：住友ファーマ株式会社に販売移管



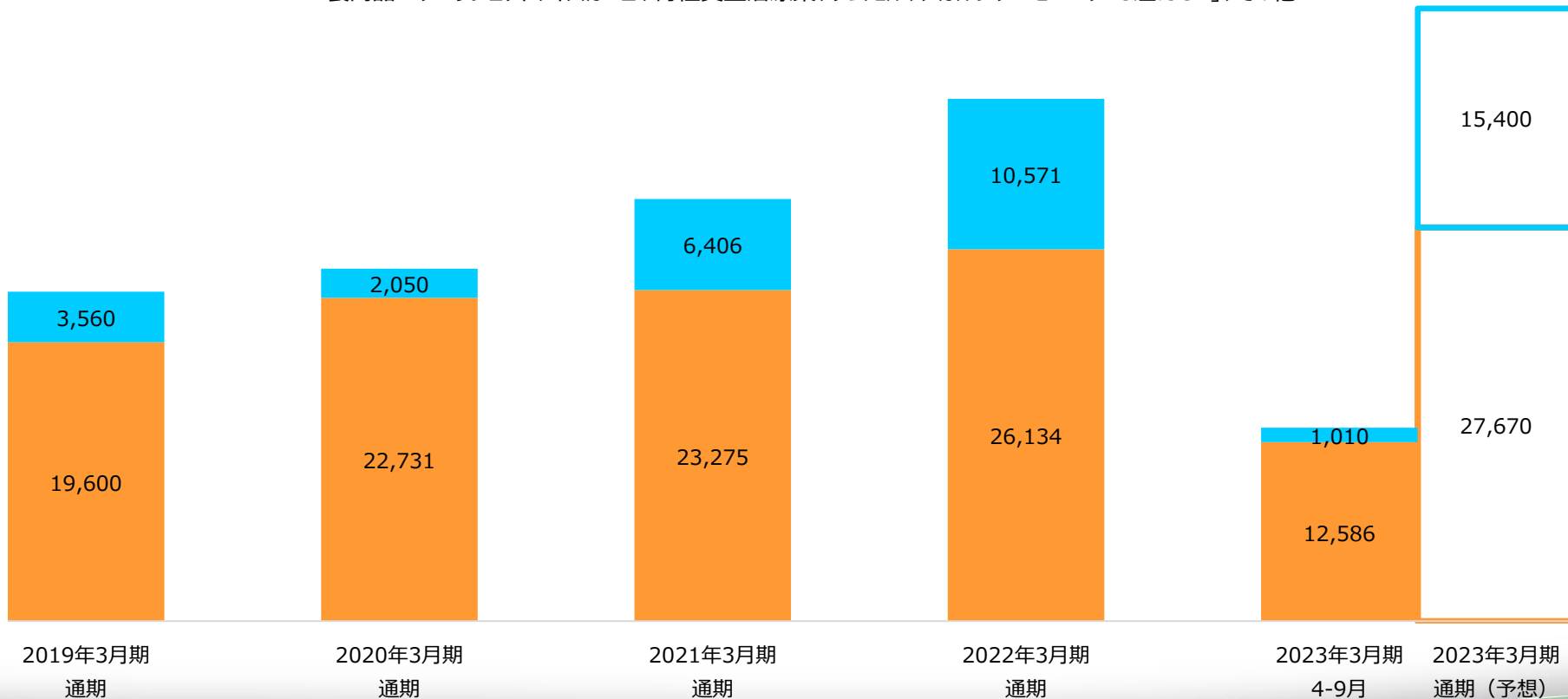
- 2020年11月 マーケティング部内にライソゾーム病専任部隊を設置し、イズカーゴ<sup>®</sup>に関する情報提供活動を専門的にサポート
- 2021年5月 「ムコ多糖症情報サイト」を開設
- 2021年5月19日 新発売

# 売上高推移 (AZD1222原液を除く)

■ 製商品\*売上高 ■ 契約金

(単位：百万円)

\*製商品：グロウジェクト、イズカーゴ、腎性貧血治療薬、テムセル、アガルシダーゼベータBS注「JCR」、その他





# 財務状態（連結）

(単位：百万円)

	2022年 3月末	2022年 9月末	増減 ・主な増減項目		2022年 3月末	2022年 9月末	増減 ・主な増減項目
流動資産	62,188	54,317	計 △ 7,870 ・ 現預金 △ 2,625 ・ 売掛金 △ 6,996	流動負債	42,054	32,991	計 △ 9,063 ・ 未払法人税 △ 5,821 ・ 短期借入金 △ 2,000
				固定負債	3,990	5,518	計 +1,527 ・ 長期借入金 +2,000
				負債合計	46,045	38,509	△ 7,535
固定資産	34,946	35,070	計 +124 ・ 有形固定資産 +145 ・ 無形固定資産 +551 ・ 繰延税金資産 △ 502	純資産合計	51,089	50,878	計 △ 210 ・ 配当金 △ 1,489 ・ 利益計上 +962
合計	97,134	89,387	△ 7,746	合計	97,134	89,387	△ 7,746

自己資本率	51.8%	55.8%
-------	-------	-------

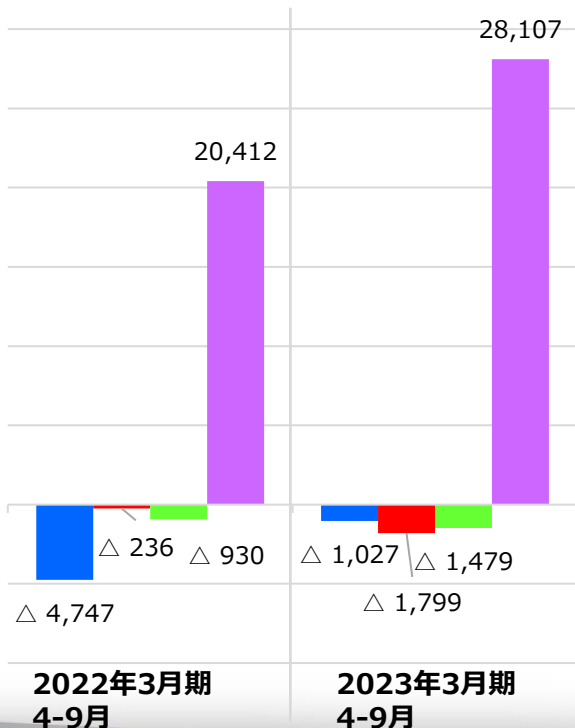
2022年10月27日に負債合計の増減を訂正。訂正箇所は下線を付して表示。

2022年11月11日に固定資産、流動負債、固定負債について訂正・追記。訂正・追記箇所は下線を付して表示。

# キャッシュ・フロー（連結）

(単位：百万円)

- 営業活動によるCF
- 投資活動によるCF
- 財務活動によるCF
- 期末 現金及び現金同等物



	2022年3月期4-9月 A	2023年3月期4-9月 B	増減 B-A
税金等調整前純利益	12,729	1,560	△ 11,168
減価償却費	922	953	31
売上債権	△ 13,934	6,996	20,931
棚卸資産	△ 1,491	△ 1,175	316
仕入債務	△ 1,466	228	1,695
法人税支払	△ 2,435	△ 5,516	△ 3,080
その他	929	△ 4,075	△ 5,005
<b>営業活動によるCF</b>	<b>△ 4,747</b>	<b>△ 1,027</b>	<b>3,720</b>
設備投資	△ 168	△ 1,773	△ 1,605
その他	△ 68	△ 6	62
<b>投資活動によるCF</b>	<b>△ 236</b>	<b>△ 1,779</b>	<b>△ 1,543</b>
借入金	0	0	0
配当金・自己株式	△ 920	△ 1,480	△ 559
その他	△ 9	1	10
<b>財務活動によるCF</b>	<b>△ 930</b>	<b>△ 1,479</b>	<b>△ 548</b>
現金及び現金同等物の増減額	△ 5,848	△ 2,625	3,222
<b>期末現金及び現金同等物</b>	<b>20,412</b>	<b>28,107</b>	<b>7,695</b>

(参考)	2022年3月期		2023年3月期	
	4-9月	通期	4-9月	通期 (予想)
減価償却費	922	1,945	953	1,870
設備投資(助成金控除後)	583	4,472	1,773	4,200

## 注意事項

本資料中の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在得ている情報をもとになされた当社の判断に基づくものであり、既知あるいは未知のリスクや不確実な要素を含んでいます。実際の結果は、様々な要因によりこれら将来に関する記述内容とは大きく異なる可能性があることをご承知ください。

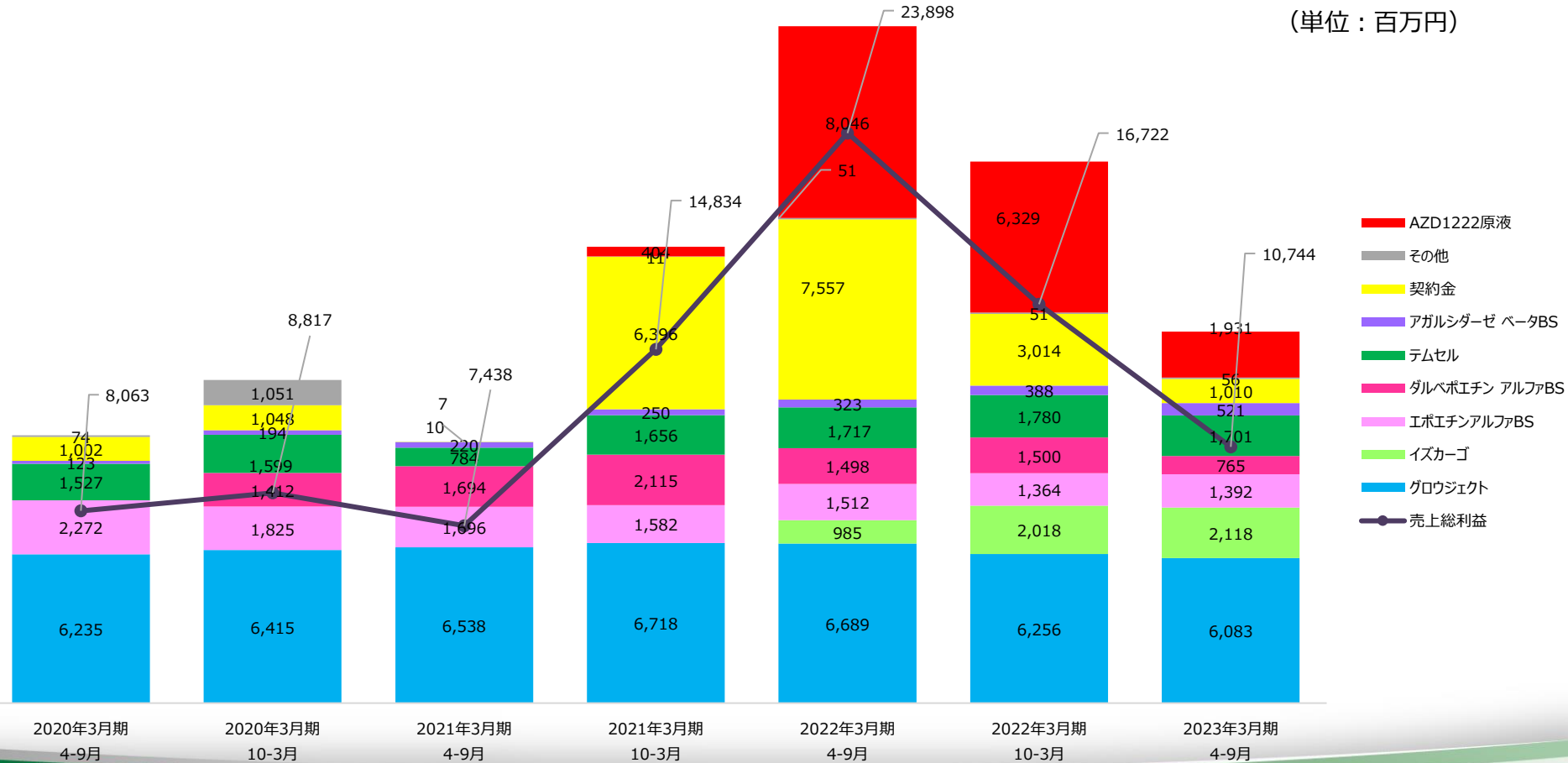
また、本資料は、当社の会社説明・事業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。



– JCR Biotech for a New Tomorrow –

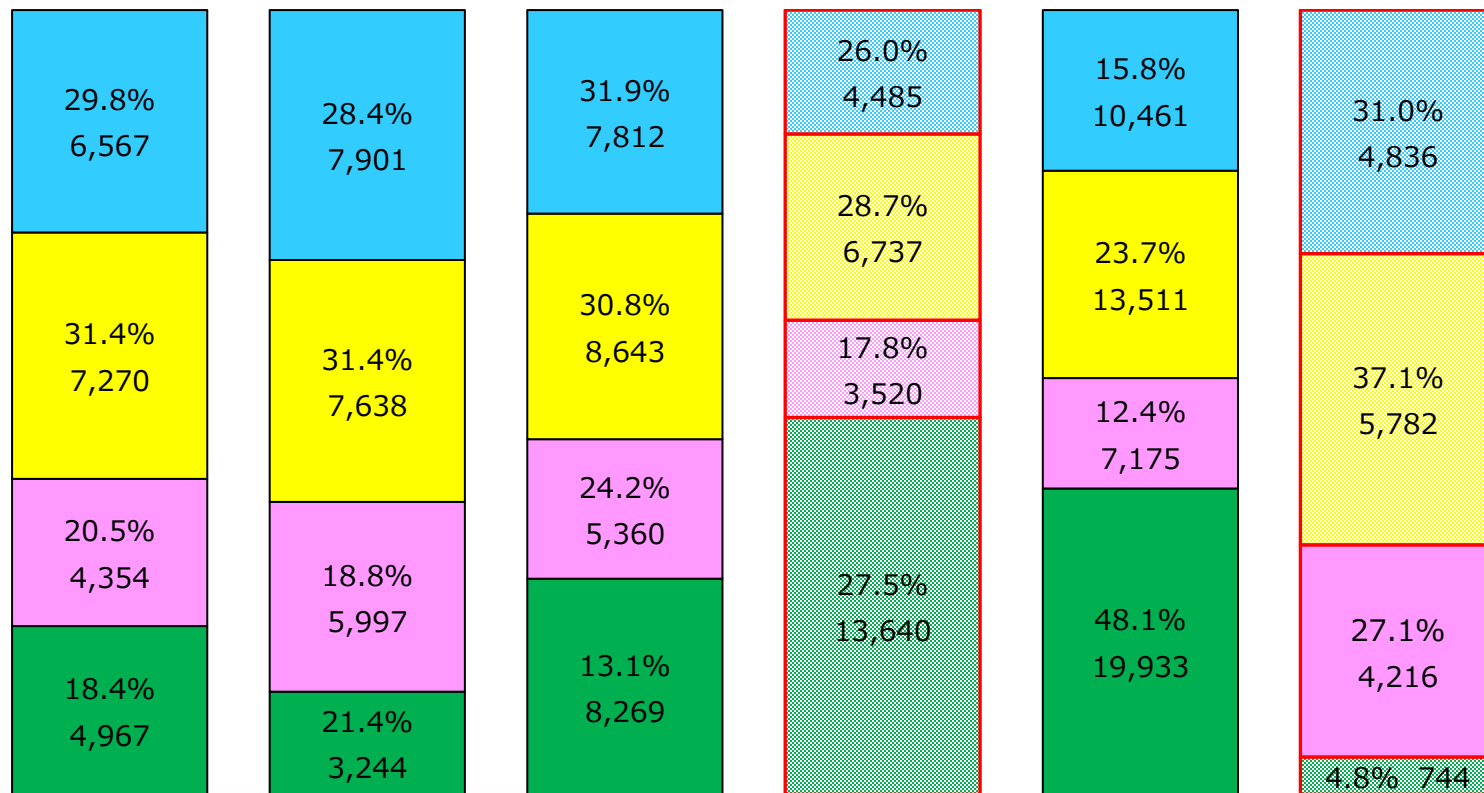
# 参考：累計売上高内訳（連結）推移

(単位：百万円)



# 参考：原価・経費の構成比 推移

■ 営業利益   
 ■ 研究開発費   
 ■ 販売費・一般管理費   
 ■ 売上原価



上段数値 (%)  
 対売上高比率  
 下段数値 (百万円)  
 金額

2019年3月期

2020年3月期

2021年3月期

2022年3月期

2022年3月期

2023年3月期

# 参考：研究開発費と主な研究開発品目の進捗状況

(単位：百万円)  
9,500

- 非臨床
- 臨床
- ★ 承認申請
- 承認取得

研究開発費（負担控除前）



	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期（予想）
JR-141(日本)	臨床	臨床	臨床★	承認取得○	
JR-141(ブラジル)	臨床	臨床	臨床★		2022.8 非承認
JR-141(グローバル)				臨床	臨床
JR-171(グローバル)	非臨床	非臨床	非臨床	臨床	臨床
JR-162	非臨床	非臨床	非臨床	非臨床	非臨床
JR-441	非臨床	非臨床	非臨床	非臨床	非臨床
JR-443			非臨床	非臨床	非臨床
JR-446			非臨床	非臨床	臨床
JR-479				非臨床	非臨床
JR-401X	臨床	臨床	臨床	臨床	臨床★
JR-142	非臨床	臨床	臨床	臨床	臨床
JR-031EB	臨床		2021.3 開発中止		
JR-031HIE		臨床	臨床	臨床	臨床
JTR-161/JR-161	臨床	臨床	臨床	臨床	2022.4 共同開発終了
ダルベポエチン アルファBS	臨床★	承認取得○			